

A close-up photograph of a wooden toy car, possibly a pull-toy, resting on a wooden surface. The car is made of light-colored wood and features a large circular body with a smaller circular cutout in the center. It has three wheels of varying sizes. The background is a wooden surface with a prominent grain pattern.

木づかう心、
豊かな感性を
育てる

木育

MOKU-IKU

木育ってなあに？

この言葉は、2004年北海道で生まれました。

こどもの頃から木を身近に使っていくことで、
人と、森や木との関わりを主体的に考えられる
“豊かな心”を育てたいという想いが込められています。

そこでわたしたちは、「木育」を「“木”が好きな人を“育”てる活動」と考えました。

森林大国・日本で暮らすわたしたち。

木育は単に木が好きになって、木を暮らしの中に取り入れればよいというものではありません。

その木材が、森林や環境をきちんと大切にしながら伐られているのか

といったところにまで想いを馳せ、

自分たちが暮らす地域の「木を使うこと＝環境を守ること」につながっていることを
しっかりと理解し、さまざまなものづくりを通して木の文化を伝えていくことが大切です。

赤ちゃんが一番心地よく感じるのは「ママの肌」。

二番目は「木のおもちゃ」だと言われています。

こどもは遊びの中で、目で見て、耳で聞いて、さわって、味わって、においをかいで…

五感をいっぱい働かせます。

乳幼児期に木にたくさんふれることで、

本来持っている創造力や考える力、好奇心を刺激。

心の成長や思考にとってもいい効果があるそうです。

手にふれたときのぬくもりやホッとする香りは、木材ならではのもの。

家庭や地域、園での木のおもちゃ遊びや活動、さまざまな体験を通じて、

こどもたちの豊かな心を育てていきましょう。

人の五感にやさしい

自然の恵み「木の魅力」

1. 木が本来持っている温度や湿度の調節機能で、
夏は涼しく、冬は自然なあたたかさ。
木は自然の断熱材です。

2. 木材の持つ調湿機能が、カビ・ダニの繁殖や
ウイルスの感染を予防してくれます。

3. 音や光を適度に散乱させて反射するので、
目や耳にやさしい環境を作り出します。

4. 部分的なへこみやたわみによって衝撃を吸収。
木の床は、身体への負担をやわらげます。

5. 人肌に近いぬくもりと癒しの香り成分が
ストレスをやわらげ、リラックス効果が生まれます。



東京おもちゃ美術館



めぐみ
こども園

新生・めぐみこども園「木育プロジェクト」 新しい園舎で全国初のウッドスタート宣言！

園舎リニューアルでは、7年に渡って林野庁の国の事業である「木育」推進を受託する東京おもちゃ美術館監修のもと、デザイナーのアイデアを交え、県産無垢材を生かした「2～5歳児木育ルーム」をつくり、世界第3位の森林大国に相応しい園づくりを目指しました。
多世代の人々に心地よさを与える木質率も考慮した、白を基調とした木の香漂う落ち着いた空間です。



「東京おもちゃ美術館」

赤ちゃんからお年寄りまで多世代の豊かな出会いと楽しみを有するミュージアム。国産の木材のみで作られた「おもちゃのもり」や、赤ちゃんが木の匂いや触り心地をふんだんに感じられる「赤ちゃん木育ひろば」など、木育のコンテンツが多数揃っています。



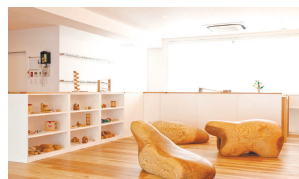
「ウッドスタート」

日本グッド・トイ委員会が展開している「木育」の行動プランのことで、「木」を真ん中に置いた子育て・子育て環境を整備し、子どもをはじめとする全ての人たちが、木の温もりを感じながら、楽しく豊かに暮らしを送ることができるようにしていく取り組みです。

0～1歳児

赤ちゃんからはじめる木のある暮らし。池田町100年杉30mm材を基調として、「未満児向けのグッドトイ」や「樹齢500年杉の削り出しアート」、北欧や日本の布で森の四季を表現した「ファブリックアート」、小型ヒノキタマゴプールなどを設けています。広い床で思いっきりハイハイしたり、おもちゃで遊んだりして、木の温もりや感触を存分に味わうことができます。

「ウッドデザイン賞」を受賞しました。



木育ルームをはじめ、県産材無垢材をメインに活用したあたらしい園舎が「ウッドデザイン賞」を受賞しました。つかまったり、抱きついたり、よじ登ったり、トンネルくぐりしたり……。0～1歳児木育ルームの人気者「樹齢500年杉の削り出しアート」も受賞しています。

2～5歳児

池田町100年杉30mm床材をメインに、県産杉のルーバーで囲われ、秘密基地気分が味わえる中二階の「ごっこ遊びコーナー」、畳スペースでコマ回しなどが楽しめる「ちゃぶ台コーナー」、多樹県産材広葉樹の「感覚遊びコーナー」とゾーン分け。多種多様なグッドトイを中心に、子どもたちが木の香りを感知しながら活動的に遊べる、死角のない安心・安全な空間をつくりました。

当園の木育プロジェクトが「第10回キッズデザイン賞」を受賞しました。

2016年、当園の木育に対する取り組みが「第10回 キッズデザイン賞」(主催:キッズデザイン協議会/後援:経済産業省、消費者庁)を受賞しました。



こどもたちの日常に 木とふれあえる 良質な外遊びの環境を。

人間が古くから生活のそばに置き、
親しんできた「木」をこどもたちの日常に。
めぐみこども園の園庭では、東京おもちゃ美術館監修のもと、
自然とつながる外遊びを展開しています。
こどもたちを見守るシンボルツリーのカツラの木、
モミジの木をはじめ、サルスベリやヤマボウシ、ドングリの木など、
緑がいっぱい。植樹する木、植栽する植物も、
生物多様性の専門家のアドバイスを受け、
まわりの環境を考慮しながら選定しています。

「この木はどんなにおいがするのかな？」
「枝や葉っぱの形、手ざわり、みんな違うんだね」
「実を食べに野鳥がやってきたよ」
「虫食いの葉っぱがお顔に見えてくるね」

お友達と一緒に外遊びを通して、
毎日いろんなドキドキやワクワクが…
こどもたちの豊かな感性・創造性・探究心の
芽生えを育てています。



大きなウッドデッキテラス

ランドスケープデザイナーの熊谷玄氏による、なめらかな曲線カーブが美しい県産総ヒノキの「大きなウッドデッキテラス」。ウレタン製のまあるいフォルムが愛らしい「水玉遊具」、座ったり、ごっこ遊びしたりして楽しめる「お家型ベンチ」。デザイン性にも優れ、こどもたちの感性をくすぐる最高の遊び場に。



ちいさなめぐみの森

シンボルツリーのモミジの大木をはじめ、さまざまな樹木が見守る「森のライブラリー」。思いっきり身体を動かして遊ぶことができる「芝生広場」、大きな遊具の下の秘密基地「黒板落書きコーナー」、「どろんこ&水遊びスペース」など、自然を身近に感じ、遊んで学べる園庭がこどもたちの日常を豊かに彩ります。



木育のとりくみ

1.こどもたちに安心・安全の使用材。

池田町の樹齢100年の「県産杉無垢材」をメインに、15種の県産材広葉樹を使用。材の塗装は木の素材や肌触りを直に感じてもらい、安全性を高めるためにウレタンをかけずに、身体にやさしい「米ぬか」から生まれた自然塗料のみで仕上げています。

2.創造性や遊び力を育むおもちゃ

こどもたちの五感を刺激する、遊び方の限定されない木製玩具をはじめ、多種多様な「グッドトイ」を300点以上導入しています。

3.木育のフ口集団

当園の職員の9割が、「木育インストラクター養成講座」や「木育指導者セミナー」を受講し、木育を推進する資格を取得。また、「おもちゃコンサルタント」の資格を取得した保育教諭による専門的なおもちゃ遊びを展開しています。

4.年間木育カリキュラム

木育指導者であり、環境教育にも特化した経験を持つ福島計一氏をメインに講師達を迎え、木育の観点からの製作・森遊びを中心とした「年間木育カリキュラム」をたてて実施。木の文化や環境について学びながら木づかう心を養います。

5.春夏秋冬の自然体験

5歳児は「SSTランド」や「足羽山」、「たけくらべ」で、4歳児は「SSTランド」や「足羽山」で、NPO団体（森のほうかごがっこう）とともに、自然にふれ、四季の移り変わりを感じる春夏秋冬の園外保育を行なっています。





めぐみこども園 「木育」へのあたたかな想い

当園では、暮らしの中に木を取り入れ、こどもの心を豊かにする「木育」をめざしています。新しい園舎では、0～1歳児向けと2～5歳児向けの木育ルームの内装デザインに「東京おもちゃ美術館」に監修に入っていました。導入している「木のおもちゃ」も想像力をかきたて、脳の働きをよくするグッドトイばかりです。

近年、「幼児教育」という言葉が浸透してきましたが、この言葉は「学校教育」とは違います。必ずしも幼児の頃から小学校レベルの勉強をさせればいいというわけではなく、まずこどもたちの情緒の安定がなければ、教育は決して成り立ちません。

こどもたちの豊かな感性、遊び力を育むやわらかい空間。木の温もりたっぷりの当園の木育ルームが、最高の情緒の安定の場となり、木のおもちゃは最高の幼児教育に当たると私は考えています。「食育」が“体の栄養”であるならば、「木育」は“心の栄養”です。こどもたち、職員、そして保護者の皆様が、ともに楽しみながら、想いを共有する。当園の今後の木育への取り組みに、ますますのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

めぐみこども園 園長 中戸 華恵



めぐみ
こども園

〒918-8047 福井市久喜津町二本松34-1

Tel. **0776-36-5057**

<http://www.megumihoiku.jp>



f めぐみこども園のフェイスブックで最新情報をチェック!

めぐみこども園 FB 検索

